

No.	重点項目	部局	取組内容	23		24				
				内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	班	コメント	
3	①	福祉部	子育て支援の充実を図るため、こども未来館の「ここにごサークル」のボランティアの育成と活動の活性化を支援	B	妥当	B	妥当	石原・富田	サークルの地域的分布の計画をつくるなどの工夫が期待される。	
5	①	産業部	遊休農地の解消と樹園地の再編を図るため、市民の主体的な運営組織づくりを支援	B	なし	D	要検討	世羅・功刀	(委員1) 運営調整が整わなかった理由をしっかりと検証して、次につなげてもらいたい。 (委員2) 農政課であれば、柿園での鳥獣被害は予測できたのではないかと。鳥獣害への対策も含め、同様の取り組みに関する先行の成功事例を参照し、運営方法等をステークホルダー間で密接に協議する必要がある。	
6	①	建設部	市民の生命や財産を守るため、自主的な耐震化の取組を支援するとともに耐震化に関する市民意識の醸成	B	妥当	D	要検討	伊藤・大久保	(委員1) 今後の展開で、国も補助制度の補助上限額をアップし、耐震改修棟数を増加するならば、H25年度の目標の補助制度の利用棟数は、H24年度より増加の目標となるべきではないかと。 (委員2) 23年度との比較において数値目標を設定したのは評価できる。設定目標が高すぎたか。8割以上は取りたい。	
7	①	建設部	市民の健康と生活環境を守るため、吹き付けアスベストに関する自主的な健康障害予防や生活環境保全の取組を支援	B	要検討	D	要検討	諏訪・村松	(委員1) ・前年度より実績は僅かながら伸びているが、目標値と乖離がある。 ・対象数が潜在し、目標値の設定が妥当と確信するならば、周知徹底の啓発方法の一考が必要である。 (委員2) 補助制度の利用実績が下回った原因の検証が必要である。	
11	②	文化市民部	地域の身近な課題に共に取り組むため、「住みよい暮らしづくり計画」の参加校区の拡大と体制づくりを支援	B	妥当	A	妥当	石原・富田		

No.	重点項目	部局	取組内容	23		24		班	コメント
				内部評価	外部評価	内部評価	外部評価		
12	②	文化市民部	日本人と外国人が共生する地域づくりを目指し、地域団体等と多文化共生モデル地区事業を実施	B	要検討	D	要検討	世羅・功刀	<p>(委員1) 成果(達成額)はむしろ減少しているため、目標値が高すぎるのではないかと。翌年度も同様の傾向が続けば、目標値の見直しも必要と考える。</p> <p>(委員2) 昨今では、地域における日本人の自治会参加率も減少している。このような状況下において、外国からの人達に自治会参加を求めるのであれば、戦略的な方策を考えるべきであろう。たとえば、地域での日常生活において彼らが今最も困っていること、最も心配なことは何か等の情報把握を行い、それらの解決に向けて自治会が協力できる部分を提示する等の活動が必要ではないか。自治会に参加することによるメリットを、より具体的に説明することが重要ではないか。また、「今後の展開」にも記載されているが、自治会自体も多文化共生の視点から従来の活動を見直す必要があると。その際、注意すべき点として、日本人と同じ考え方や理解を外国人に押し付けるのではなく、彼らの文化や習慣を理解する対応も必要ではないか。</p>
13	②	文化市民部	外国人児童の日本語の学習支援として、地域団体等とプレスクール事業やアフタースクール事業を実施	B	妥当	B	要検討	伊藤・大久保	<p>(委員1) アフタースクール・プレスクールに参加したくてもできない子ども達もいると思うので、参加の機会を広げる方策も考慮していただきたい。</p> <p>(委員2) 「重要度が高い」にもかかわらず、日本語教室、プレスクール実施が減っている。成果が前年度から後退しているため、次年度に向けて支援の手法も含め検討されたい。</p>
14	②	福祉部	ひとり暮らし世帯等への見守り及び買物支援などを行う高齢者安心生活サポート事業の拡充	D	妥当	D	妥当	諏訪・村松	<p>(委員1) 着実に目標近く達成しているが、今後さらに展開するためには、これまでの枠を超えてサポーター層を広げる必要がある。</p> <p>(委員2) ・成果として88名まで伸ばしたことは敬意を表したい。 ・一人暮らし家庭を地域でサポートする体制をつくる事が大切である。</p>
15	②	福祉部	支え合いや助け合いの地域福祉を推進するため、担い手の育成とボランティア活動等の取組を促進	A	妥当	B	要検討	石原・冨田	<p>(委員1) ボランティア登録者が目標に達しており、次のステップとしてそのアウトカムに視点を向けてはどうか。</p> <p>(委員2) ボランティア養成講座の内容を定期的で開催することで、よりレベルUPに繋げて行く必要がある。また地域別リストの作成も必要であろう。</p>
17	②	健康部	地域コミュニティの主体的な健康づくり活動の活性化を図るため、健康のまちづくり事業への参加校区の拡大とプランづくりを支援	D	妥当	D	要検討	世羅・功刀	<p>(委員1) 毎年5校区増やしていく目標となっているが、現状からすると厳しいのではないかと。目標が達成できるような対応を行う必要がある。</p> <p>(委員2) ・2年間継続して数値目標が未到達である。 ・呼びかけた支援に関する具体的な記載があれば、評価が容易となるであろう。 ・地域への参加呼びかけの際、支援活動の成果が示されているのか疑問がある。成果が可視化されていなければ、参加は増えないのではないかと。 ・数値目標の見直しが必要ではないかと。</p>

No.	重点項目	部局	取組内容	23		24			
				内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	班	コメント
19	②	産業部	市有ため池の外来魚駆除を地元団体等の理解と連携を図りながら推進	D	要検討	B	妥当	伊藤・大久保	(委員1) 関係部課との共同事業を今後もやってもらいたい。ボランティア団体などとの協働事業も考えられないか。 (委員2) 多方面からの協力も得て実施しており、評価できる。
20	②	都市計画部	地域の公共交通環境充実のため、コミュニティバス運行に向けた地域の主体的な取組を支援	B	妥当	A	妥当	諏訪・村松	
23	②	教育部	青少年の薬物乱用防止や子どもの暴力防止・人権尊重を推進するため、NPO法人との協働による取組を推進	D	要検討	C	要検討	石原・富田	(委員1) 一定の成果は出ているので、一層の達成度の向上を目指してほしい。 (委員2) 数値等が明確ではないが、ワークショップや講座など市側も今後とも見守る必要がある。
24	③	企画部	市民、事業者、行政が一体となった「オール豊橋」の体制づくり	A	妥当	B	妥当	世羅・功刀	(委員1) 市全体で盛り上がっている様子で、今後に期待できる。 (委員2) ・数値目標設定の根拠を記載して頂きたい。 ・2年を経過した本活動が市民に周知されているか、分析・自己評価が必要であろう。
25	③	企画部	民間と連携した取組強化を図る仕組みづくり	B	妥当	D	妥当	伊藤・大久保	(委員1) 認定事業について、更に広く市民に知ってもらうような方策が望まれる。 (委員2) 補助金の規模を示すべき。採択された5事業が前年度と同様であるならば更に異なる事業を掘り起こすべき。
26	③	企画部	「アイラブとよはし運動」の推進による市民への情報発信と市民の愛着意識の醸成	B	妥当	B	妥当	諏訪・村松	

No.	重点項目	部局	取組内容	23		24				
				内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	班	コメント	
27	③	産業部	豊橋産農産物のブランド化を促進するため、「とよはし農産物ブランド育成計画」の策定と推進	B	なし	B	要検討	石原・富田	(委員1) 農家の収入増加などそろそろ目に見える効果の発現が期待される時期ではないか。具体的成果の実現を目指すこと。 (委員2) 更なる認知度向上のための活動が必要。	
28	③	産業部	観光資源の魅力とPRの促進に向けて豊橋観光コンベンション協会等との連携強化	D	要検討	D	要検討	世羅・功刀	(委員1) 昨年度より増加したものの、目標値から10万人ほど乖離しているため、今後、より一層の努力が必要。手筒花火が全国的に有名になってきていることもあって、観光資源の醸成をさらに行うとともに、広域観光の核として推進することが期待される。 (委員2) ・数値目標が達成できていない。 ・「豊橋まつり」および「炎の祭典」は、昨年度と異なり好天および企画の工夫により、大幅な人出増と報告されている。しかし、参加者実績の増加数は、昨年度と比較して約3800人の増加であり、大幅な増加とは言いがたい。この結果は、集客可能なイベントと集客できないイベントの二極分化が発生していることを示しているのか、分析が必要であろう。	
29	③	産業部	首都圏活動や市内でのイベント開催など協働によるプロモーション活動の仕組みづくりと推進	B	妥当	B	妥当	伊藤・大久保	(委員1) さらに「豊橋市」を効果的にPRとして使えるもの（例えば、動植物公園の象などがあると考えられる）をトヨッキーと組み合わせたPR方法を考えたらどうか。 (委員2) 予算額は定かではないが、費用対効果を考えれば誰が見ても分かるような成果を示すべき。20~50名程度の購買客増では、「成果を予定通り」の根拠としては曖昧。また、プロモーション事業に限らずトヨッキーを様々な場面で活用すべき。トヨッキーの知名度を上げることも側面からのプロモーション活動の支援に繋がる。	
30	③	産業部	新たな市民参画手法による三河港の認知度の向上	A	妥当	D	要検討	諏訪・村松	(委員1) 参加しやすい日程や毎年度、内容を変え充実するなどの手法、および、より広い市民参加のため参加者の固定しないような方策の一工夫が必要と思われる。 (委員2) 達成度Dの判定基準は人数のみで判断すべきものか疑問である。出校日とイベントが重ならないよう調整して開催すべき。	
31	③	都市計画部	LRT都市サミットの誘致に向けて、とよはし市電を愛する会、商工会議所などと連携した取組	B	要検討	B	要検討	石原・富田	市民の足、エコツーリズム等との関係を意識した市のブランド化作りに統合すべき事業ではないか。	

No.	重点項目	部局	取組内容	23		24			
				内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	班	コメント
32	③	総合動植物公園部	総合動植物公園、自然史博物館と周辺の社会教育施設との連携による「のんほいパーク100万人プロジェクト」の仕組みづくり	B	妥当	B	妥当	世羅・功刀	(委員1) 年々、入園者数が増加しているため、成果としてでているものと考えられる。 (委員2) ・数値目標の設定に疑問が残る。2年連続して、前年度の達成値と同数あるいは下回る数値を目標値として設定する理由は何か、記載が必要である。 ・アジアソウ「マール」が、アピールポイントとしては困難な現状を踏まえ、より具体的な企画の展開が望まれる。
34	④	文化市民部	芸術文化交流施設のPFI手法による施設の供用開始	B	妥当	B	妥当	伊藤・大久保	
39	④	環境部	ごみ収集業務の民間委託の拡大	B	妥当	A	妥当	諏訪・村松	(委員1) 20%以上契約金額が下がったことは評価するが、サービスの質の低下、また、委託業者に従事する職員の人件費にシワ寄せがいないか、十分なチェックが必要である。 (委員2) 業務を行っていた職員の委託後の処遇に関する記載が望まれる。
41	④	産業部	既存の指定管理者制度導入施設の効率的・効果的な運営の見直し	D	要検討	D	要検討	石原・富田	指定管理者の創意が活かされ市民の満足度向上につながる運営状況を把握できるような成果の指標について検討すべきではないか。
44	④	建設部	道路等の維持管理などに関し、民間活力の導入可能性を検討	E	なし	E	要検討	世羅・功刀	(委員1) 取組名が「道路等の維持管理などに関し、民間活力の導入可能性を検討」というタイトルであるが、目標が境界査定業務となっており、合っていない印象がある。また、委託化の検討を行っているが、まだ定まっていないということであり、進捗の遅れが気になる。 (委員2) 公益法人化が判明しないと本取組みは進められないのか否か、本シートの記載内容からは判断が出来ない。効率化の対象となる課題の整理などは、進めることができないのであろうか。
45	④	建設部	既存の指定管理者制度導入施設の効率的・効果的な運営の見直しと新たな導入施設の可能性を検討	D	妥当	D	妥当	伊藤・大久保	(委員1) 利用者の利便性の向上をまず第一として課題の達成に取り組んでいる点は良いと思う。 (委員2) 20~22年度まで、利用台数は下降の一途であり、早急に運営体制を再構築すべき。

No.	重点項目	部局	取組内容	23		24				
				内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	班	コメント	
46	④	都市計画部 総合動植物公園部	既存の指定管理者制度導入施設の効率的・効果的な運営の見直しと新たな導入施設の可能性を検討	B	妥当	B	妥当	諏訪・村松		
47	④	都市計画部	県境部や臨海部企業と連携した通勤手段の転換に関する社会実験の検討及び実施	B	なし	B	妥当	石原・富田	協議会とエコ通勤に関する講演会の開催に加え、さらなる工夫が期待される。	
48	④	消防本部	救命率の向上を図るため、AED等を配置した登録事業所等（救命の駅）の拡大	A	妥当	D	要検討	世羅・功刀	（委員1） 目標値としては達成しているが、予算をつけていけば達成できるような目標にも見える（もちろん、設置交渉はあるだろうが）。今後は、成果的な視点での目標を考えることが望まれる。 （委員2） 登録要件の内容が課題となっているのであれば、可能な範囲内での見直し、あるいは行政側からの要件取得支援が必要ではないか。	
49	④	教育部	学校給食調理業務における民間活力導入の拡大	B	妥当	B	妥当	伊藤・大久保	委託期間は5年で安定的な活用が期待できる。併せて地産地消の仕組みについても導入する形で民間委託を図って欲しい。	
52	⑤	防災危機管理課	災害時の情報収集・発信の拠点となる登録事業所等（災害情報ステーション）の拡大	D	要検討	D	要検討	諏訪・村松	（委員1） 登録事業所数が増加しない要因を検証し、啓発、業種等の拡大方法の工夫が必要である。 （委員2） なぜ増すことが出来なかったのか、問題点をとらえて明記してほしい。	
53	⑤	企画部	多様なメディアを活用した広報活動の推進と双方向の情報発信の効率的・効果的な仕組みの充実	B	妥当	B	要検討	石原・富田	（委員1） SNS（facebook）の活用など新しい情報発信媒体に取り組む自治体が増えている。事業の一層のスピードアップが求められる。 （委員2） 目標値について他都市との比較に関する記述や、今後のHPの運営方法に関する記載が望まれる。	

No.	重点項目	部局	取組内容	23		24				
				内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	班	コメント	
55	⑤	文化市民部	男女共同参画の活動に関するホームページの充実	B	妥当	B	妥当	世羅・功刀	(委員1) 目標が定量的でないため、達成度は測り難いところがあるが、実施事項は多々取組まれており、評価は妥当と判断した。 (委員2) ・HPを活用した情報共有化を目標とするのであれば、アクセス数の分析は必要であろう。 ・H.25年度の目標設定は、HPの充実とどのように関連するのか不明瞭である。HPは、あくまでも各種講座の申し込み窓口として使用する予定なのか。だとしたら、図書の貸し出しも、HPを窓口としてWeb上での貸出システムを構築することも視野に入れるべきであろう。	
57	⑤	福祉部	子育て支援に関するホームページ等の充実	B	妥当	B	妥当	伊藤・大久保	ホームページを活用する子育て家庭の反応、要望などを充分取り入れるように運用されたい。	
58	⑤	環境部	光化学スモッグ発令に関する関係部局との連携強化と市民への迅速な情報提供の体制づくり	B	要検討	B	要検討	諏訪・村松	登録者数が昨年度より増加したことで評価するのではなく、豊橋市の有効人口に対する割合を考えて目標値にするべきではないか。	
61	⑥	文化市民部	市民活動団体を資金面で支援するための補助金や交付金制度の見直し	B	妥当	B	妥当	石原・富田	審議会意見に沿って迅速に進めることが大切。	
64	⑥	文化市民部	協働を推進するための職員のサポート体制の強化	B	妥当	B	妥当	世羅・功刀	(委員1) 目標が定量的ではないため、測り難いところがあるが、取り組みを行っており、妥当と判断した。 (委員2) 市民と行政の協同推進に向けた双方向コミュニケーションの場を設定する試みは評価できる。しかし、本取組の継続性を考慮する時、行政側(市職員)が出向く手法の場合、市職員の労働形態(フレックスタイム制など)に工夫をしないと、市職員の労働強化につながる危険が懸念される。	
65	⑥	文化市民部	市民協働に関する職員研修の充実	B	要検討	D	要検討	伊藤・大久保	(委員1) 講義形式は聞いて終わる可能性が高いので、今後の展開に記載されているように、実践形式に重点を置いたらどうか。 (委員2) 行事開催の都合というだけで安易に開催を見送るべきではない。必要な研修であれば同等の代替研修を実施すべき。	

No.	重点項目	部局	取組内容	23		24				
				内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	班	コメント	
66	⑥	環境部	地域密着型の地球温暖化対策に取り組むため、市民、事業者との一体的な取組体制を強化	A	妥当	A	妥当	諏訪・村松	成果の記載に関して前年度比1,050件増加とあるが、目標数値に対する増減割合で評価すべきではないか。	
67	⑥	産業部	勤労青少年の自主活動に関する支援の強化	A	妥当	D	妥当	石原・富田	利用者のニーズに合った、講座、イベントの開催を検討されたい。	
68	⑥	都市計画部	二川宿景観形成地区の住民団体との協定づくりや景観形成地区整備計画の改訂	B	なし	A	妥当	世羅・功刀	(委員1) 現地説明や周知などを積極的に行っている様子がうかがえる。 (委員2) 景観整備の促進による波及効果が見られるようであれば、それらも働きかけの材料として活用できるであろう。	
69	⑥	都市計画部	コミュニティバス運行に対する効果的な支援	B	妥当	A	妥当	伊藤・大久保	(委員1) 利用促進、運行について更なるPRを実施し、利用者の増加を図っていただきたい。 (委員2) 利用者が3割増というのは評価できる。更なる努力に期待する。	
72	⑦	総務部	「人材育成基本方針」の改訂	B	なし	D	妥当	諏訪・村松	(委員1) 関係部署のみならず、市役所全体が喫緊の課題として認識し、全職員が熟議を重ね、従前の考えにとらわれることなく、時代の要請に的確に応えられる職員の育成のため、実行性のある方針の迅速な改訂が急務と思われる。 (委員2) 年度内に完了できなかった理由に関する記述が望まれる。	
76	⑧	総務部	「定員適正化計画」の計画的な執行	D	要検討	B	妥当	石原・富田		

No.	重点項目	部局	取組内容	23		24			
				内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	班	コメント
79	㊟	企画部	東三河広域協議会事務局の組織体制の充実	B	妥当	B	妥当	世羅・功刀	「東三河県庁」という一見類似した名称の組織も設置されたため、H.25年の取組みとして、住民への周知に工夫が必要であろう。
81	㊟	文化市民部	「どすごいネット」などを活用した東三河地域の市民活動情報の充実	D	要検討	D	要検討	伊藤・大久保	(委員1) 次年度の展開を着実に実施して目標を達成してもらいたい。 (委員2) ネット利用のニーズはあるはずなので、年々増加、拡大してもよい状況での減少は腑に落ちない。アンケート分析結果を踏まえて、利便性の向上を図って欲しい。
83	㊟	健康部	東三河地域の医療体制の確保に向けた連携強化	B	妥当	B	妥当	諏訪・村松	
85	㊟	産業部	東三河地域の産業活性化に向けたサイエンスクリエイトの広域的な体制強化	B	妥当	D	要検討	石原・富田	サイエンス・クリエイトの活用については計画達成したが、それに基づく産業振興事業のあり方について、分析が必要である。
87	㊟	産業部	農産物輸出の推進に向けた連携強化	B	妥当	B	要検討	世羅・功刀	(委員1) H23年度の外部評価コメントが反映されていないように思う。また、H23コメントにも書かれているが、数値目標などがなく、達成度がよくわからないため、要検討とした。 (委員2) 安全性に関するリスクコミュニケーションには、文化・習慣・国民性等の相違が大きな要因となるため、現地ハイヤーとの情報交換は充分に行うことが必要である。
89	㊟	消防本部	消防救急無線のデジタル化に向けた東三河5市の共同整備の検討、実施	B	妥当	C	妥当	伊藤・大久保	(委員1) 今後は広く市民への周知、効果的な運用・維持管理をしていただきたい。 (委員2) 目標である費用負担軽減効果を検証してほしい。

No.	重点項目	部局	取組内容	23		24			
				内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	班	コメント
90	⑩	総務部	監査機能の見直しなど内部統制機能の充実	B	なし	D	妥当	諏訪・村松	職員研修会等の参加者数を示して欲しい。行事を行うだけの目標は充実にはならない。
92	⑩	会計課	支出関係書類が法令・予算に違反していないかどうかの厳格な確認	B	要検討	D	要検討	石原・富田	(委員1) 所管としての目標を達成しようとする工夫や試みは評価できるものの、抜打調査などの取組の結果は真摯に受け止める必要がある。
94	⑪	防災危機管理課	危機発生時の体制強化と「危機管理指針」等の整備	D	要検討	B	妥当	世羅・功刀	(委員1) 今後は指標を周知することも考える必要がある。 (委員2) 実地訓練にもとづき、机上で作成したマニュアルを検証することは適切な対応である。加えて、必要ならば危機管理指針の見直しも視野に入れる判断は評価できる。危機管理に関しては、リスクと判断した事象には迅速に対応すべきである。
95	⑪	関係部局	想定危機事案ごとのマニュアル整備と体制強化	B	なし	D	妥当	伊藤・大久保	(委員1) 記載にあるとおり、マニュアルのPDCAサイクルを早期に実施完了していただきたい。 (委員2) 早急にマニュアル作成を完了し、検証、見直しの実施を期待する。
103	⑫	企画部 産業部	広報紙への有料広告掲載など	B	要検討	D	妥当	諏訪・村松	(委員1) 有料広告は目標額に達していないが、前年度の実績を上回っている。南口ブロックについては妥当な対応と考えられる。 (委員2) 大幅に自主財源を増やしている努力は立派である。
104	⑫	文化市民部	豊橋市国際交流協会など団体の自主財源の確保と自立度の向上	B	妥当	D	妥当	石原・富田	今後も会員獲得には厳しい社会情勢が続くことが予想されることから、積極的な会員の勧誘活動を実施されたい。

No.	重点項目	部局	取組内容	23		24				
				内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	班	コメント	
105	⑫	福祉部	こども未来館のホームページへバナー広告掲載など	D	要検討	D	要検討	世羅・功刀	<p>(委員1) 今後、目標額が上がっていくため、さらに自主財源の確保に努めてほしい。</p> <p>(委員2) ・HPのバナー広告に関しては改善が見られたが、目標値は達成されていない。バナー広告誘致につながる戦略をいま一度考える必要がある。 ・広告掲載の効果を、具体的に記載頂きたい。</p>	
107	⑫	環境部	ごみ収集車両等への有料広告掲載など	D	要検討	A	妥当	伊藤・大久保	<p>(委員1) 当該項目に関連する事業でPRの機会などを設定し、周知の方法を広げたらどうか。</p> <p>(委員2) 収集車両への有料広告掲載は貴重な収入源であり大切にしたい。24年度は、当初の目標額が低すぎたということもあるので、25年度が真価を問われる年となろう。</p>	
108	⑫	産業部	競輪のホームページへのバナー広告掲載など	D	要検討	D	要検討	諏訪・村松	<p>(委員1) バナー広告掲載料については、目標額を下回ったものの、取り組み努力により前年度の実績を超えている点は評価できる。但し、各企業への啓発、営業方法を再考する必要があると思われる。</p> <p>(委員2) 競輪のHPは一般広告は難しいように感じる。バナー広告よりもアフィリエイトを検討するなど、さらなる工夫や発想の転換が望まれる。</p>	
109	⑫	総合動植物公園部	総合動植物公園のイベント企画等で有料広告掲載など	D	なし	B	妥当	石原・富田	<p>(委員1) 今後の展開で記載されている事項が次年度に具体的な成果として出なければ、取組としては抜本的な見直しが望まれる。</p> <p>(委員2) 目標値の自主財源の確保が出来ていない</p>	
110	⑫	総合動植物公園部 教育部	中央図書館、美術博物館、自然史博物館などのホームページへバナー広告掲載など	D	要検討	D	要検討	世羅・功刀	<p>(委員1) それほど高くない目標額に対して、達成率が低く、今後、達成していくにはハードルが高いように見える。バナー広告は、HP自体に魅力があるかにも左右されるため、来年度も達成状況が悪いようなら、事業自体を検討する必要がある。</p> <p>(委員2) 掲載誘致を進めるに当たり、具体的な戦略内容の記載が欲しい。</p>	
114	⑬	健康部	歯周病検診などの自己負担額の見直し	D	要検討	D	妥当	伊藤・大久保	<p>(委員1) 18種類の検診や予防接種について検討、制度の過渡期であるとのことであるが、具体化できる可能性のあるものから解決していただきたい。</p> <p>(委員2) 26年度には実施できるよう25年度の動きに期待する。</p>	

No.	重点項目	部局	取組内容	23		24				
				内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	班	コメント	
115	⑬	環境部	ごみの減量化に向けた経済的手法の導入など	B	なし	B	要検討	諏訪・村松	(委員2) ごみの減量化に向けた経済的手法の導入は市民生活に密接に関わることから、多くの市民から理解が得られるよう合意形成に向けた取り組みが必要と考える。	
117	⑬	建設部	市営住宅の施設使用料の見直しなど	B	妥当	D	妥当	石原・富田	駐車場整備工事が必要となる住宅の有料化に向け、入居者との合意形成に努めること。	
118	⑬	総合動植物公園部 教育部	自然史博物館における大型映像観覧料の見直しなど	D	要検討	D	要検討	世羅・功刀	(委員1) 昨年度よりも実績が下がっていることや、目標値には届きそうにないことから、抜本的な見直しを検討する必要があるのではないか。今度の展開に書かれている内容を実施しても、今の状態が続くようなら、目標値の見直しも必要と考える。 (委員2) ・1(大型映像観覧料),5(プラネタリウム観覧料)に関しては、広報活動の具体的な内容の記載が望まれる。 ・2(市民大学トラム受講料),3(家庭教育講座受講料)に関しても、広報活動の具体的な内容の記載が欲しい。また、3については、受講者のニーズ分析を実施したか否か、明記して欲しい。	
119	⑭	総務部	公共施設マネジメントの強化	D	なし	B	要検討	伊藤・大久保	(委員1) 施設保全計画の策定にあたっては、より具体的に計画を立て、早期に業務の遂行に努められたい。 (委員2) 一定の進捗は見られるが、継続事業ということでもあるので、より一層努力すべき。	
121	⑭	財務部	繰上償還(借換)の実施	B	妥当	C	妥当	諏訪・村松		
124	⑮	財務部	公用車台数の見直しなど事業の見直し	D	要検討	D	妥当	石原・富田	昨年度のeLTAXによる見込みミスを今年度修正し、相当の効果が出たと判断できる。	

No.	重点項目	部局	取組内容	23		24				
				内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	班	コメント	
126	⑮	企画部	広報活動経費の効率化など事業の見直し	B	妥当	D	要検討	世羅・功刀	<p>(委員1) 経費削減は必要であるが、廃止することの妥当性について、もう少し理由付けがほしいところである。例えば意識調査を中止して影響はないのかなど。</p> <p>(委員2) ・1~4(経費見直しによる節減)の取組みに関しては、経費削減という視点からは評価できる。 ・5(交際費の圧縮)に関しては、例えば市記念品の品目を見直す等、市の品格を損なわない範囲での見直しによる効率化が期待される。</p>	
130	⑮	福祉部	施設運営費の効率化など事業の見直し	D	妥当	D	妥当	伊藤・大久保	<p>(委員1) 経済的効果目標額の高い、国民健康保険事業特別会計繰出金の件では、見直しの進捗状況は計画どおりに実行できたのかについて記載が欲しい。</p> <p>(委員2) 23年度の外部評価コメントに加え、3(情報誌発行事業の見直し)については、正確な情報掲載という基本を踏まえてきちんと業務の遂行ができる団体であればNPOにこだわらなくてもよいと考える。予算規模が同取組内の他の項目よりも大きいので早急に進めて欲しい。</p>	
131	⑮	福祉部	各種団体等への補助金、負担金の見直し	D	妥当	D	妥当	諏訪・村松	削減は大切であるが、「無駄の判断」は慎重に正しく行うことを期待する。	
133	⑮	健康部	休日夜間診療対策事業など補助金、負担金の見直し	B	妥当	D	妥当	石原・冨田	目標は未達成ながら、達成度に対する分析及び今後の展開欄のコメントは相当に適切と判断される。	
135	⑮	環境部	浄化槽設置費補助金など補助金、負担金の見直し	D	妥当	D	妥当	世羅・功刀	<p>(委員1) 太陽光発電システムについては、普及が進みつつあるなかで、補助単価の見直しを行うことによる、経費削減ができていないことは評価できる。</p> <p>(委員2) 昨年同様、市民のニーズに迅速に対応する姿勢は、評価できる。しかしながら、同様な対応が2年続いた点は課題であり、数値目標算定の根拠を再考すべきではないか。</p>	
136	⑮	産業部	企業誘致活動の効率的な実施など事業の見直し	B	妥当	D	妥当	伊藤・大久保	検討課題が1(企業誘致活動事業)であるのは明らかであるので、効果的に取り組み、目標を達成していただきたい。	

No.	重点項目	部局	取組内容	23		24			
				内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	班	コメント
137	⑮	産業部	TMO支援事業など補助金、負担金の見直し	A	妥当	D	妥当	諏訪・村松	(委員1) ・事業補助は事業効果をもて、事業の内容、金額(増、減)を毎年度検討する必要がある。商店街、まちの活性化の誘導施策として、行政がどのようにかかわるかによって対応が変わってくる。 ・団体補助は団体の事業内容に着目して、時限を定めて行う必要がある。 (委員2) たいへん難しい目標であることが推測できる。検討に期待したい。
139	⑮	都市計画部	苗ほ管理事業など事業の見直し	B	要検討	B	妥当	石原・冨田	
140	⑮	都市計画部	豊橋みどりの協会補助金など補助金、負担金の見直し	B	要検討	D	妥当	世羅・功刀	(委員1) 目標額の達成はできなかったが、利用者確保が必要なことから、補助金増額をしたことは評価できる。 (委員2) 路線バス利用者の増加促進は、困難な事業と予測されるが、活動の具体的内容の記載が望まれる。
143	⑮	総合動植物公園部 教育部	自然史博物館の維持管理経費の効率化など事業の見直し	A	妥当	D	妥当	伊藤・大久保	
145	⑯	市民病院	医療スタッフの確保 ○優秀な人材の育成 ○医療スタッフの負担軽減 ○医師の処遇改善 ○労働環境の整備	B	妥当	B	妥当	諏訪・村松	スタッフの養成は重要なことであり、離職者も考えあわせたほうがよい。スタッフ一人一人の負担軽減が図られているのかについての記載が望まれる。
146	⑯	市民病院	救急医療の充実 ○救急医療の充実	B	妥当	D	要検討	石原・冨田	(委員1) インフルエンザのインパクトなどあって、単に目標未達成という評価を行うのではなく、コンビニ受診などとの区別など、救急の効果・あり方について、一層の検討が必要ではないか。 (委員2) 目標△1%は、目標値が少なすぎるように見受けられる。

No.	重点項目	部局	取組内容	23		24			
				内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	班	コメント
147	⑩	市民病院	周産期医療の充実 ○総合周産期母子医療センターの開設 ○パースセンターの開設	B	妥当	B	妥当	世羅・功刀	当初計画通り、H.26年度に開設出来ることを期待する。
149	⑩	市民病院	病診連携の推進 ○地域医療機関との連携強化	B	妥当	D	妥当	伊藤・大久保	逆紹介率については目標値を上回って推移している。30%は十分達成できているので連携強化という目標の性格からしても次年度は目標値を上げて取り組むとよい。
154	⑩	上下水道局	お客さまサービスの充実 ○給水申込窓口業務の充実 ○料金窓口業務の充実	B	妥当	B	妥当	諏訪・村松	インターネットの効果が出ており、新しい発想を取り入れる柔軟さは良い。